課題DSP2-1-2

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2019 | 年 | | 5 | 月 | 9 | 日 |
| クラス | 5J | | 番号 | | 02 | | |

課題２-１-２について，2,1,0,1を作成したプログラムで，非巡回相関を計算した結果を図１に示す。

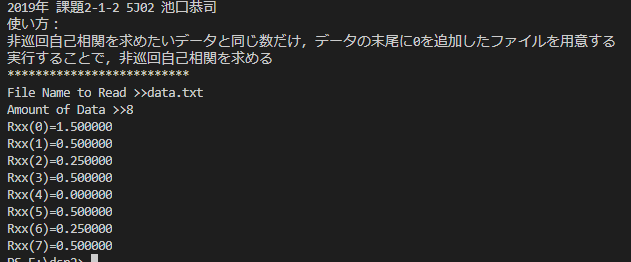


図１　実行結果

次に手計算の結果を示す．

元データ行列に0,0,0,0を追加した行列についてパワースペクトルを求めると，以下のようになる．

　ウィナー・ヒンチンの定理より，

　以上より手計算した結果と同じであることが確認できた。